

小児がん看護 投稿チェックリスト

原稿ID:

(初回投稿では記載する必要はありません)

提出日: 年 月 日

論文題目:

*論文投稿（再投稿含む）の際には、下記に従い原稿を確認してください。

*該当箇所に☑を付けてください。

1. 著者資格と会員状況

 筆頭著者が、日本小児がん看護学会の正会員である（編集委員会からの依頼原稿は除く）。

2. 重複投稿および先行発表の有無

 本原稿は、他の学術誌・出版物に未発表かつ未投稿のオリジナル原稿である。 原稿に、国内外を問わず学術集会等で発表した内容を含む場合は、その旨を論文末尾に明記している。

3. 研究対象および倫理的配慮

3-1) 本研究は、以下のいずれかの対象を含む。

 人間 動物 該当しない（該当しない場合、4へ進む）

3-2) 研究倫理に関して、以下を遵守している。

 研究対象者に研究目的・方法・成果の公開等を十分に説明し、自由意思による同意を得た。

【同意取得方法】

 文書による同意を得た。 その他の方法により同意を得た。（同意取得方法：） 同意を得てい（理由：） 研究参加によって研究対象者に過度な負担や不利益が生じないよう配慮した。 所属機関等の倫理審査委員会の承認を得ており、原稿本文に、倫理審査委員会の名称および承認番号を正確に記載している（「所属大学」などの一般表記ではなく正式名称を明記している）。 ・倫理審査委員会名（） ・承認番号（） 倫理審査が不要と判断される研究である（理由を本文に明記している）。 同意取得の方法および内容を、本文中に記載している。 個人が特定されないよう十分に配慮して記述している。 実名や特定可能な固有名詞を使用していない。

4. その他の倫理的・知的配慮

 他文献・資料からの引用は正確に行い、出典を明示している。 他者が開発した尺度・質問紙・画像等を使用する場合、事前に著作者からの使用許可を得ている。 上記の許諾について、本文または謝辞等で適切に記載している。

5. 利益相反（Conflict of Interest）

 利益相反に関する事項を、論文本文末尾（謝辞の後、参考文献の前）に「利益相反」の見出しを付して

記載している。

利益相反がある場合は、以下のように明記している。

例) 「著者 A は株式会社 X より研究資金の提供を受けた。著者 B は株式会社 Y より講演謝金を受領した。」

利益相反がない場合は、「本論文に関して開示すべき利益相反はない。」と明記している。

6. 著者資格（オーサーシップ）の妥当性

著者全員が、本誌規定に基づくオーサーシップ要件を満たしている。

投稿規程に基づいた著者順および責任著者の明示を行っている。

国際医学雑誌編集委員会（ICMJE）が定める著者資格基準に準拠した著者全員の貢献内容を、本文末尾（謝辞の前または後）に記載している。

7. 副本の匿名化対応

査読用原稿（副本）では、以下の内容を非識別化※している。

謝辞中の個人名・施設名

研究発表歴・学術集会名

助成金名および助成番号

所属・施設が特定できる情報

※非識別化：著者が特定される可能性のある内容をすべて、○○○に置換する

（墨消しやマーキングは不可。文字数変更不可）。

8. 原稿形式と投稿規程の遵守

原稿は、A4 サイズで、文字数は本文 12,000 字以内（抄録、引用文献、図表は含まない）としている。

400 字程度の和文抄録を付している。

総説・原著・事例研究は、英文抄録（250 語程度）と英語キーワード 3~5 程度を付している。

また、英文校正証明書を提出添付している。

原稿枚数は投稿規程の上限を超えていない。図表・写真は 1 点=1 ページとしてカウント済みである。

図表・写真は、本文中に挿入位置を明記したうえで、オンライン投稿・査読システムにおいて本文ファイルとは別ファイルとして提出添付している。

引用文献は、投稿規程に従い、本文および巻末に適切に記載している。

巷末の文献リストは、著者名のアルファベット順で正確に列記している。

投稿規程「論文投稿における倫理」を確認している。

投稿規程「投稿の条件」を確認している。

9. 匿名性の保持（査読対応）

査読者への回答書類に、著者名・所属・施設名など、著者が特定される情報を記載していない。

10. 最終確認

上記すべての項目について確認を行い、チェックを完了した。